

# 学 校 経 営

## I. 経 営 の 基 盤

### 1. 本校の実態・特色

- (1) 本校は明治7年12月3日に創立し今年度は145年目にあたる。平成28年度末には、卒業生が1万名に達し、伝統と歴史のある学校である。  
平成13年3月から校舎改築工事が本格的に始まり、その12月には完成した。  
地域住民は、「花館」に寄せる愛着心「子どもは地域の宝」という気持ちが強く、花館コミュニティ会議、花館体育振興会、老人クラブ、民生委員等が本校を中心に据えた様々な地域行事を年間を通して展開しており、児童の成長に大きくに寄与している。
- (2) 昭和40年頃からは諸研究会の公開を始め、体育・文化両面において輝かしい実績をあげながら現在に至っている。昭和58年にはマーチングバンド（HMB）が編成され、それ以来全県大会はもちろんのこと東北・全国大会等に数多く出場し、現在では本校の伝統（特色）ある教育活動の一つとなっている。バンド活動には、地域や保護者から力強い協力を得ている。また、地域貢献の一助にもなっている。
- (3) 特別支援教育地域センターとして通級教室が設置され、大仙・美郷地域の特別支援教育の拠点としての役割を担っている。また、図書館教育の充実を図るため、図書ボランティア「たまたまぼこ」による図書室の環境整備と「読み語り」が計画的に継続実施されている。平成22年度から、大仙市立図書館とも連携を図り、図書館司書の協力を得ている。
- (4) 平成17年度に、保護者・地域の方々の協力を得、「子ども見守り隊」を発足させ、学校・保護者・地域が一体となり、本校児童の安全を見守っている。長年の活動、無事故に対し、昨年度大仙警察署長・大仙地区交通安全協会より優良団体表彰をいただいた。ただ、近年隊員の減少が続く隊員の確保と体制の更なる充実が急務となっている。
- (5) 本校の教育目標「ひとりのできる みんなのできる あすにむかって 今 せいっぱい」は、児童一人一人がつながりをいっばいに広げ、自主・自律・自立の精神を培いながら、伸びやかに夢を思い描き、自ら学ぶ力を身に付けることをねらいとしている。大仙市が目指す、「生きる力を育み、社会を支える創造力あふれる人づくり」大仙市教育メソッドによる「地域活性化に寄与できる子どもの育成」を目指し中学校校区単位で取組を推進したい。本校教職員は、日々ねらい達成のため、個の力・組織の力を結集し誠心誠意努力している。

### 2. 保護者・地域の実態

- (1) 旧国道13号線、105号線、旧奥羽（花館）街道、13号線バイパス、JR奥羽・田沢湖線等の交通事情の中を児童は登下校している。さらには雄物川・玉川・丸子川・用水路等も多いことから、特に児童の交通事故や水難事故防止等、気の抜けない状況にあり、常に安全指導の徹底を図っている。
- (2) 保護者は、学校運営に協力的で、PTA活動にも積極的に取り組んでいる。その協力する精神は伝統となっている。大仙市教育委員会が掲げている「PTA協働の教育」が具現化されている。
- (3) 旧花館地区は、進取の気風と郷土愛の精神に満ち溢れた地域として評価されてきた。しかし、急激な社会状況や商業都市化、家庭生活の変化等は、児童の意識や情緒にも様々な影響を及ぼしている。
- (4) 各町内は、新興住宅団地を含めて親近感、連帯感を高めようと努力している。この地域の豊かな包容力と教育力を積極的に学校教育に導入している。

### 3. 児童の実態

- (1) 児童は素朴で明るく、他を思いやる、あいさつのよい子が多い。他方、多様な困り感を抱える子も多い。また、行動は活発で自発性もあり、多角的に追求し、解決しようとする意欲を学校生活全般から受け取ることができる。5月1日現在児童数406名である。
- (2) これまでの文部科学省指定事業や平成28年度の秋田県道徳教育研究会により、個性の伸長、友情信頼の心の醸成が図られ、望ましい集団活動の展開が積み重ねられてきている。また、地域社会に支えられていることに感謝しながら、地域行事等に積極的に参加している。課題は、規範意識・判断力のさらなる向上と自主的、実践的な活動の充実を図り、よりよい花小児童文化づくり、将来の夢の実現に向けて、意欲的に取り組む児童の姿の助長である。
- (3) 活動的で運動好きの児童が多い。学校グラウンドが校舎から遠く離れていることもあり、外での遊びが存分できない現状であるが、時間を見つけては多目的ホールや体育館、校庭で友だちと関わりながら元気いっぱい遊んでいる。体力の向上に向け、平成27年度から体育の時間に「花小サーキット」と命名した基本の運動を実践している。

## II. 経営の方針

公教育の方針（秋田県教育庁、南教委事務所、大仙市教委の教育方針）を踏まえ、新学習指導要領の趣旨の理解を図り、学校教育目標の具現化を推進する。

### 1、思いやりの心の育成 <心>

- ・ 自他のよさを生かし、認め合う心の育成
- ・ 集団の一員としての自覚と充実感の育成
- ・ 道徳的実践、規範意識、自主・自立、自己肯定感の向上
- ・ 本物に触れる等豊かな体験活動の充実
- ・ 特別支援教育のさらなる充実

### 2、たくましい心と体の育成 <心・体>

- ・ 基本的な生活習慣の定着
- ・ 食育の推進
- ・ 体力づくりの習慣化
- ・ 保健安全指導の徹底

### 3、児童一人一人が「分かる・できる」喜びを味わえる授業の展開 <知>

- ・ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善、UDの視点による授業づくり
- ・ 主体的に学ぶ意欲の喚起、学びを深める探究力の向上
- ・ 基礎・基本の確かな定着、思考力・判断力・表現力の向上
- ・ 主体的な家庭学習の推進
- ・ 道徳教育及び特別活動の充実による実践力の向上

### 4、家庭・地域との連携、地域に根ざしたキャリア教育の推進 <連携>

- ・ 子どもはみんなで育てる、協働の精神
- ・ 家庭・地域・関係機関との連携（横の連携）
- ・ 幼・保・小・中・高・大との連携（縦横斜めの連携）
- ・ ふるさと教育を基盤としたキャリア教育の推進
- ・ 大仙教育メソッドの充実

## III. 学校教育目標

ひとりのできる みんなとできる あすにむかって 今 せいっぱい

急速な技術開発により、人間による仕事が10年後には半減するとの予測が出ている。情報化の発達により多種多様な情報がますます氾濫すると考えられる。そんな中で、生きて働き社会に貢献する力を求められる子どもたちには、豊かな人間性と確かな判断力・行動力が不可欠である。

歴史と伝統、保護者や地域の教育力に支えられ、花館小学校は花館地域に根ざした特色ある教育活動に営々と取り組むことができている。

教職員は、本校で学ぶ子どもたちがふるさとの今を積極的に生き、やがては自分の翼で力強く夢をいっぱいはらんで飛べるように支援することに喜びをもち、自らもまた共に伸びていく存在でありたい。また、子どもたちが、共に生きる力と自立する力を備え、それぞれが自己実現を図り自尊感情を高めていくことができるような支援をし続けたい。

#### 【ひとりのできる】

- ・ 聞く、考える、表現する（行動する）、思いやる、根気強さ、勇気、我慢

#### 【みんなとできる】

- ・ 互いの良さを認め合う、我慢、譲り合い・いたわり・励まし合い、自浄力、連携

#### 【あすにむかって 今 せいっぱい】

- ・ 課題への気づき、解決への自主的・主体的な活動、粘り強い取組、挑戦、探究心  
居心地のよい学級・学年・学校

これらの心や力は、学習はもちろん、「ひめがみ活動」や全校音楽活動、児童会活動、読書活動、本物に触れる活動などの諸活動や諸体験等を通して育てられる力であり、全ての教育活動はそのために用意される。

「ひめがみ活動」の備える心の緊張と解放・友だちのよさの発見と集団活動、質的な深まりを求めて問い続ける力・夢と創造性・児童文化の創造等は、特に育ちの絶好の場として生かされるものと確信している。